〈隔々週〉 木曜日発行

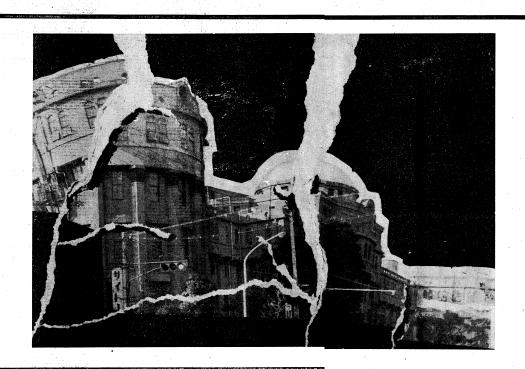
瓶器

振春口座 (東京) 四九一五五二年分 (淡科共) | 五〇〇円 和泉支局代表(別)五九〇八(直通)

- 発行--大学インフォメーションサービス 就職資料室で無料配布しています(毎月25日発行) 明治大学新聞学会

就職情報の 入社案内月報

### 和 元禄





の文学科技、文学部部技 の文学科技、文学部部技 のリスト伯の材料」 学長 新練 正回 の数据 (公文学) の数据 (公文学) 6明治四十四年十月十一日(六十 一起、東紅

理事長

五六(再任) 加藤

二富正正 Л 長 中 総 藤 学 長 斎 事 留 理 松 本 義 泰一 池井岡藤 菊 弘 " 藤 耕 三 郎 (再任) 大 策 松 " 後 小 堀 **\$**3 久 (再任) 大 沢 清 重 (再生) 白 石 四 郎 監察 葉 Щ 三郎

高 橋 喜 久 今 野 幹 彦 (再任) I 部教務部長 松田孝 (文·教授) 学生部長 山口孝(商・教授) 臨時学長室専門員

> 市毛景吉(法•教授) 熊谷一男 他1名未定

> > っても、何事もなかったかのよう ト時に何もしなくて、授業が始ま

教員諸氏に対してはオメデタさ加会に出席される等して、関われた

において選出さる三月二八日の評議会

のまる経 B 共年月日 (年 14) 出典地 の主な研究連載・著書にど @本学奉職年度

微)、福益県

O 洪越县巡任区分

6 東京都新都市建設公 理事 藤井 耕」

七年四月

百年 公正理支

1 日校友理事後編 大策

理事 大沢 清証

O平和相互銀行取締役

6日本網管(株)助教 日本殖空 日本網管(株)助教 日本殖空

理事 松本 智報

10字版 - 理事長 加藤 の明治三十六年九月二十一日(七の明治三十六年九月二十一日(七 私大連広報委員、新聞学会理事長の秘書課長、総務議長、理事五回 十三、概果 @昭和三五本学 商学部学

吾

商科和最高任

の制治四十四年五月二十九日 (六

十三處)、福井県

(株) 社民、平和相互銀行常務以

の昭和二十八年 の昭和二十八年 の昭和二十八年

及 ①数算 松岡 三年 20法字部教授(労働法)・法字博 ◎昭和十六年東京大学法学部4

50本学科議員会副議長三回、法学 50昭和二十五年本学法学部学 の大正八年六月四日(五十五〇) 理事 小婦 炤久

◎昭和二十三年本学政経学部公 B以経学部教授(爾莱以三) 理事 岩 四路

8明治子年十月十十日 〇 B政総学部式、理事五回

感、長野県

(林) 取標技

回の爭感に関しても学生にしかないようだ▼それにして

0日本学術通信社(株)代表取締役 0大正公年十一月二十二日 公十 幹事 今野 幹巡 六歲 、干葉県 事情を知らせる気は大学当日

学員から運ざかり、新学期に て登校すると、総域・学長が恋 かった。 学生は 様みになっ

労働資業務官 の記載課長、総務課長 の記載課長、総務課長 総)、長野県 栄工事(株)取締役、曹和延村●の大正十一年二月十四日(五十二] ⑤ 原達闘争(株)常務収締役、協 6日本鑑波塔(珠)常粉以編以 の大正九年四月 | 日(五十四三) タワー観光バス(株)取締役、校 GEE英経済新聞社婦人部長、東京 ③昭和十三年本学政経学部卒 のソータ問号(株) 専行 の校及 十六岁)、神奈川県 成)、東京都
成)、東京都 ◎ 「経済及び経済政策はの方法を 事務長兼晨学部事務長 @何財課長、体育課長、生田校日 C III の政徒学部長 B四十二十五年 **建工工业员** 6昭和十一年本学政科学派4 監手 高福 喜久 女三 正第 有頭

ひとつも財政的基盤を成し遂げ 駄な場ばかりしかしていない。 何億もかけて鉄棚で囲んだり 政を作り出した立役者である。赤長は長く総物理事を粉め、赤字財 ドマンに帰ったり、大学の内外 役職員には 于円の折詰を 出し る) に牛耳られている。 加藤理事 制大田原甲学から明大へ入っ い。加燥ファミリーは栃木県立旧 解ファミリー』 (栃木 県間ら 死と言いつつ、やる事と言 入談げには一日一万円プ

表向きの辞職理由はともかく、その背景が、多

すぎない。なによりも問われる事は理事会自体の

う代物が指揮なわけである。 れば一日は然なのである。つまり、国大協路線、それはプロロテン式に生産される、学士様、をみ 定的に確う位相に立たざるを得ない。ハイ・タレ 対して明大型私大ではその実現の可能性もなく決 に隷属したハイ・タレントを教育と研究を分離し 積み上げできているいわゆる。国大協路線、とは波新大学あるいは東大の大学院大学構想を看々と たところで生産していくという。国大協路線 象であったが、その直線的な危機はもちろん。財 さるをえなくなっていた。一というのが第一の印 理事会が総辞職という形で自己の危機を回避せ 生産以前の段階で立ち遅れているのである。 大協路線は決定的に違うのである。資本 も「ダメな明大」という事であろう。筑 であったはずだが、その背景としてはな

ヶ月余り大学職員など大学関係省の困惑ぶりはか・『理事会総辞職劇』の結着をつけた。その間、一『理事会総辞職劇』の結着をつけた。その間、一の再任、小堀総務担当理事の 再任 という形で、辞職した。そして三月二八日には加藤五六理事長 ってない程のものであった。 二月二五日の評議会において、理事会は突然総

た。なななら、こうした理事会の急激な動きの中上の出来す。 として 見す 過すことは できなかっ が乱ればんだのであった。我々、新聞学会編集部管理になるのではないか?』といった切迫した話 隠されていると思ったからであった。 大な赤字財政、と推測されたため、『明大は銀行 | 理事会総辞職―再任、の過程を単に、天 現在の明治大学総体がかかえもつ矛盾が

## 明大のかかえもつ矛盾

長就任時)から始動していたのである。、関とした。値上げ体制。は七一年六月(加藤理等 いく過程である。七二年の学寶強行値上げの過程収斂していく中から再度の学寶値上げを準備して 所に設置されている。)なる秘密フラクを行動機 された。臨時対策本部・(現在にあっても学内基 明白である。理事会―大学権力中枢のもとに組織 はまさしくそうした直線的解決としてあった事は

助成要求、が単にアリバイにしかすぎないといっ 財政キャンペーンをもって暴力的に大学関係者を 排除した挙校体制のもとに理事会を再編し、赤字 容易さによる直線運動である。異物をできるだけ 期的展望望のない状態での動きはまさに暴力的な が今回の理事会総辞職の背景である。こうした長 た失速状態に追い込まれているいらだちの表われ 高度な、学、を追求できない、そして、、公員

# 直線的解決としての学費値上げ

存在である。

# 公費助成運動の悪無限

力のなさをごまかす補完物として利用しているに 的無能さ、しいては大学のゆく末をみさだめる能 家的投資が行なわれる事は 悪 無限 にしかすぎな 業者にしかすぎない全国九百余の大学の学生に国 額運動、が組み立てられているが、ていのよい失 ばかげた方策で乗り切ろうとしている。国が担う した無能大学関係者は、公費助成金増額、という い。こうした運動に明大の理事会は、四者協く た国家と教育を一体化した論理をもって彼等の増 べき教育を我々が代行しているのだから…といっ 一員として参加してはいるが、それは自己の経営 国大ー私大間の決定的な異相を共産党を中心と る。

## のが私学なのである。 いる非常動講師・助手・下層職員を圧迫している

的、権力構造であり、それ故に跡を絶たぬ犯罪的 利権がつきものであるといった真実からみれば、 によって身動きとれない明大―といったゴシップ動きは現在にいたっても続いている。―学内派図 各学部長段階でのボス交によって、新理事会、な たものは、利得者以外の 存在 を占めだす 『日本 より一層の分析が可能になる。学園・閩機といっ らゆるものが動員されて、鈴伽妥送出段階からの る。ミゾ、はその後の学内派風形成にも微妙に影 でこの現実を語る事はたやすいが、派閥には私的 響してくるだろう。鮮明になった事は旧理事会ー くれた。理事長―総長間における感情的とも思え に明大総体がかかえもつ矛盾をはっきりとみせて 学内派閥の理事会糾弾暗躍 ヶ月の理事会総辞職―再任の、狂言、

理事技になって更なる権勢を建る とうな、その上、理事長の対抗局 がいないのを見通した上で、再び がいないのを見通した上で、再び 「春餅」を持さえ、更に「学養値かえ、学内の危機認識向揚を狙い 内では省名)の計算された狂 長一派(加藤ファミリーとはそうだ。今回の実際は加 新選事会が適出された旨の告示が学名でもって、前日の評議員会 り進んだ。三月二十九日、明治大祝賀会だったのだ。事態は予想通 一新」の名の下、理事会が必 たのだから。赤子四七億円 いうのが見取図だ▼明大は 出された。その月、明大の

# 私学資本は下層大学

英描

二月二十五日の評議 員会における理事会総 部職は異何の事として 部職は異何の事として

、タレント教授、助教授にそれ相応の報酬を与える 見返りはあまりにも不当に 低く 押 さえられて 酬しか得れない非常動講師。百時間を超す残業をマニ!三千円、あるいは一学生〇円〇銭という報コトバで示される実体など存在しないのだ。一ココトバで示される実体など存在しないのだ。一コ が、実体として学生を教え、教育環境を整備して イクルにしかすぎないのだ。大学の看板としての こそ大学の実体を担っているにもかかわらずその な経済学で説明されるが、『人件費上昇』という 化は物価上昇→人件費上昇→財政圧迫という簡単 となしてやっと人並の賃金を得る現業職員。彼ら 私大の経済学は学賛値上げ↑→施設拡大のサ "私学の危機" として表現される私大財政赤字 教職員の上にたつ

**科学報ゴルフ大会が三月二** 笛が 【人心一新』 という のは当然の事である▼事態 につれて、隠蔽された



平然と誤議をする犯罪性に終りを

學選に能するとはない。経

ますよ。一週間以内に施烈な強化 よますよ。一週間以内に施烈な強化 よれた内閣が大学選供に立ちます

-- 今までの理事会に対してこ

お。何の必要があって入試の最中

ようか。 人です。 質問があったか。 だけど あったということと、それから 一条出手がくした。 一番開業をおした場相していなか 一を出手が終する このたいでにない、このへんが遅っている人心 新いら 予報的 から おおの (おさったん)とない 白をかんを得ずる。 対射ななくとし から

 不一思う。いくらかはその間の事情を一時一それは素値に受けとられますか。
 は一それは素値に受けとられますか。 一環会が経過の理由と

会託では資本後の三百倍から」音 二十倍の母をとしいる。明治大 学は実常に値会え。度心や単幅日 でも同じくらいの優をはある。 たれでもうかと展示が不検加して ものおうと、運動と 様とにしてい まっ 一い。いまざら言ったって、とにかっ 春日井 そういうことは関かな

い。それで近々新しい理事会がでており、裏があるようなことはな のだ。大学も安部省へ説明にいっ マふうにおもしろおかしく響くも 大沢 読んだ。新聞社はああい

・ 事会から何か説明があったのです。 か。 反対だった。 齊腕 何もないんです。それで

学長選挙も無条件にやることには えらんじゃないか。 つまり欠高が

すればならないが、権充するより あって、三人も欠けると補充しな あって、三人も欠けると補充しな

斎藤 (文学部長・評議員) - 二十五百の理学系解的につ

ていなかったんじゅ

年間理事会として機能し 釈信としないものがおり

長り 現役ではないので意見を含えない立場にあるが。

--在職中から赤字はあったの

春日井

(元経・顧問・評議

----

にさしさわりがあるからね 私の意見というとひとさば

**般的に補強・強化して全体** 

とっていきたい、というだけ

- 読売 新聞の記載は いんだ

したり、簡贴理事が光年なくなら 特理事が病気で倒れて辟職願で出 大沢(非常動理事・校友) 財

ら | 総辞職することがあった人気の是中に | ☆

ますれがあり

大沢(非常動理事・校友) 財ー 理写会の総辞職の理由は?

ありませんよ。

裏のあるようなことは

よ。私、ちょっと控ぶ持って変せ

ういうことの責任を追及するとい

いから、総務課でわかるんじゃなんが。それは秘密でもなんでもな

総務性でわかるんじゃな

斎藤 あるんじゃあり ません

の努力が足りなかったと思ってい この。と々な楽を出したって皮対は あろうが、来でちゃんと出すべき。 であったと思う。

さ うか、非常に幼稚さわまる話ですい ういうことを騒ぐ。教職機の方で や。今の大学では学生でも全部で

たいと頼うものであります。 ついては、この決意に至った を申し上げ、大力の御理解を得った

陶山 こういった意味で理事会

一前から銀行融資が止まると

せっておこってんだがね。年寄りがわからんやつはみんな免状を返 の修正なんだ。このこ は私の専門の学問からなて 係者としてはいまさら名をけが 治はされいだといわれておっ

異会においてこれが受理されま なる決意のもとに辞任すること とし、さら二月二十五日の評議

理

群任につい

0

途をつけることができました。

の一颗を図れる。この

加藤五六

反応や早稲田も同ぐらい

借金がある

1 間を長ばは回じり

理事を含んでいる。このへんに「何か」が含まれているのではないだろうか。なお役職名はイン ぶれは、理事長の加騰五六氏をはじめ、総務理事小堀氏、非常勤の松間氏、大沢氏と四人もの旧 に辞任する。つまり、大学の経営を投げ出したと見るのが妥当たろう。ところが、新理事会の顔 べきだろう。一つ達えば取り返しのつかないことになったかもしれない重大問題である。このこ 以外は「どうもよくわからないね」ということだった。よくわからないのになぜ評議員会が辞任

とを無視することは大学の「私物化」をさらに進めることになろう。人心一新だけで、意大時期 を認めたのかも問題だが、十分な説明らないまま活表を提出したということでのものを問題にす

1一子祭について。

そういうことについて考るるとい

の値上げじゃない、資格価値下窓

の文書は教籍目におられた他、「広報」18号にお極歌されての文書は教籍目におられていたろう。なれ、この文書が変わらしたは、あまり現得できないなろう。なれ、この文書は

本気でいってるのかという気がし 公共的性格を持った機関だ りの赤字という意味では、

られている。 各位殿という文 かの説明は――。

内容は人心一新ということ なかった。その前に文書 入学試験の寛敬中。 一日一万円のガードマンを何十人、何旨人と雇ってまで学内全体を "防衛"

憲表を突く理事会総語戦、いったい明治はどうなってるのか。しかも二月二十五日と言えば、

脚山 それがちょっと。もっと早く意志表示ができたんじゃないか。

それがちょっと。もっと一番問題になるとだと思う。

亦学十六億ということです

ついうとはしたくない。

らなかったか、全くされられていない。これは教育面を無視のっちな文書を出した。しかし入試別間は労渡も入切な時別であるにらかかわらず、なぜこの時期に発見したければな別であることがなったが、法人は三斉一日付埔事長

からの美になっ、学者というのは、できない。寄付も人な関係なくや、こうちの可能がなっ様だなくては、るとぎると、学校当局が学校の異なったが、こうちの可能がないました。 場所は大学権に入り得りによった。 みんださん 校友でも学生でありた。 こうちょうしょうけん こうなに 選挙した いっしゅう

とつして十六億赤字があ

よ 学校だ、お前は全業生だから温気 かなやよ。独切にしてやれば情が なやよ。おじぎしなくては、おれ また。

及び校友、学生も納得

陶山 新しい計画もなしに経常

していたほどの、「大学にとって最も需要な時期(各氏)」に理事会がやめるということは「何





されたの語「の観」を発生していた。

「いったもでのできない情報があった。

「いったもでのできない情報があった。

「いったもでのできない情報があった。

「いったもでのできない情報があった。

「いったもでのできない情報があった。

「いったもでは、一般では、「いったもでのできない」を対していた。

「いったもでは、「いったもでのできない」を対していた。

「ないったもでは、「ないった。

「ないったもでは、「ないった。

「ないったもでは、「ないった。

「ないった。

「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。
「ないった。

**縣**與"生"、 法、 接。 はなかった。去皐月紛を上げたし 信円を月謝収入から払う。今の示値いるんじゃないですか。その二 四十九年度なら四十九年度には以 **火きけど。 李生** 

も私は財務の責任者でなくて学省 としらなことできんでしょう。だんだ。如んなど、人がから、N大だってそうおおっぴいたいにやめる時代なんと、ない。あったのにやめる時代なんと、 -- 別型学を長友会の関係は 無いとは、大久の間部には、できた人と、ことの後では、または、大次のカアだけ、このうとして高速なら、これでは、日本のである。 は、ないのは、日本のでは 一同の意のあるところをおくt 係予位におかれては、我々理事 ら期待し、あわせてこの際人心 と発展のために今後共一層の御 どうか教務製造をならびに関 明8488年卒業証書提与式

まった。動物で言るのだれてなん

生干ガ人なるということ このごろしないよ。そんな考えは 寄付すべきだなんていったって

卒業生に入学以外のサービス

当を食べているようですね 理事者は何か毎日千円の外

じゃないかる 先生の御在職の時も借入金とかあ 食べているようですね。 男べているとうですね。 役員 一盟等者は何か毎日千円のが

十一号館とか十号館とか学生会社 ルよ。建てるのにたらえば二十種円 がよ。建てるのにたらえば二十種円 使いるんでする。安い時だったら 中川 建物を建てるでしょう。 マーエにかんから、一生版会 と、一生にかんから、一生版会 を、一生版会 かたのだんだんでおにくなったね。 できむ、生活向上にんだろうた。も が、生活向上にんだろうた。も の理事の時、自動車にんか相乗り せいたくだしご、ぼくらぶんか中川 そうかね。それはちょっ 見るように親切に、できるだけ。

なっているのですよ、理事会だって このいるのですよ、理事会だって このいるのですよ、理事会だって になっているのでする。 であるだっているのであるだっているのである。 であるである。

一所懸命やれば、たい所は から。そうずれば卒業生にも恥ごから。そうずれば卒業生にも恥ごうぶんか かがすからね。だからやでさい、今の出機り、うな、親しからの学校にする人であれますね。そうしていた。全行事事をもしていた。 も、母校へは寄付していからした よ。やはり信義だべ、私益な いう努力で、金融等りして上回い

して、それから内輪の、悪意

と記念媒通する、経営者と

とないです。そんはことしたら一様とないです。そんはことしたら一様と できょっと見りたい方だけど。そう思

り、五、六十万円いるんじゃないり、五、六十万円いるんじゃない相、それを着干払う。棚限本のと

すか、銀行の方を利子が二、

・ 問答は立数よか単奏、かんし、こ、やっぱり奏生と親しなららに、けんかのを持か。至しなうらに、けんかのを持かっているがかった。 けんかのをはんだって、耐くなかった。 そういうこんですが、こった。 そういうこんですが ー。

生字させいなんで言ったって聞く
の もんでにからね。いいここでも
と 話しのにとしたかったりぶっ塊さ
で むちゃうよ。
ばくの方は河に乗戦智の方だか
ら、人の駆目は言えねえんだ。一

(文賞・編集部)

があるれ、一流校の。相場以

一 時他されていた。 ・理事長杯」が のラブで『第二回・理事長杯』が

であった。 1882年である。 1882年である。 1882年では、1882年では、1882年であった。 1882年であった。 1882年である。 1882年である。

には通行するの会「球の時が体 体制かられていない。近いでは、この方が、理理が変するが、もの上発理等・で、 (本) では、 (本) では、

対理事会団交の内容

べ・アのことは審議し

組合 ペ・アについて

理事長 申し入れがら

書はつ合

を埋事 今の欧岡では何んとも答っていわしが、 を埋事 今の欧岡では何んとも答っていれてい。

てもらう。今の非治事態をつくっ 学長 私は心境がらるのでいわし

みなさん方からいるいろ

辞

辞任の理由ださかせてはし わなければならないが評議員会で 学長としてではなく 辞任

2月27日

大教職員組

文字 20年間で、 20年の日本からの日本のでは、 20年の日本のでは、 20年の日

るかのいすれかになるがっ

定で補充するんだけど、この味理 ・ 一数協力する場方団関をつ くりたいと思うので破壊を出すこ くりたいと思うので破壊を出すこ とに決まりました。このいう報告

新理事に聞

<

そべ

の

、二十九日午後発表された。編集部ではこれにもとづいて、役員へのテレフォン・インタビュ 三月二十八日、評議與会が崩かれ、新選事会役員(建事長・崇長・幸長・理事・監事)が決定

がんばるしかない」

3.

「まあいるいうあるじゃないですか。」という発言、学長の今のメンバーがまた出てきたら変帯だという発言、学長の今のメンバーがまた出てきたら変帯だという発言だと気になる材料がある。

合ニュース」 六九三号で明らかにされている。この中で理事長の日常行委員長) は対理事会問交を行なった。この内容は「副大組工房」十五日の理事会認辞歌について明治大学教験員組合(黒

――なぜ入試頻脳中に――。

一形で予算を組んだということが、

五十六百億の資本のうちたった四と借金しているが、明治大学ではと 

にけなんで、 臨時金の何い

般論しか言えたいんだ。

3月27日 連合教提会





(文字部長)・山本連一法学部教(文字部長)・山本連一法学部教(本の各字部から三百余名の事任教(本の各字部から三百余名の事任教(本の各字部から三百余名の事任教(本の各字部から三百余名の事任教 3月12日 適省教授会沪本校六 ハーは穴部分は 現学記 長であっ

●参表の構成は「皆付行」記行



ういう風にして準んでいきたい。そいことはこちらが取り上げる。そ

け岩の方だけど、教職が及び学生

今までのように一方的にアウ

う。学生でも数数減でも、こ 理解して もらって、助け ア

だから、月間でうむりしないで、

を討議するはずであったが、理学の日の評議会では理事会の予算条 2月3日 私学会担で別位され

山本三六聚であっ

んだ。それと今のはもっと気い金 これんに納得すれば。

これから財政が担当を入

いい知恩を振めて、一応相談してやっぱり新内閣ができたらざこで

は月謝とか何かの経営収入で払う一億いるね。利子二億と三億だけ

すとこんがらがらんでねえかな。

あるかもわからんけど、

すを払うわけだ。それとおと十年

らか二十年の間に 年賦で 払うん

たらどうかという提案があった。

中川 他大学の方は多く知らん こうもの家族 だから。 けど、産ぼ、単稲田子りは多ない うちの家族 だから。 とも必要でないかな。

あった。前翔馬会就任時の世話役 的存在であった景鮎理事の自殺、 京す第一に理済会内部の崩壊が

その内実 赤字財政

で大学関係者の中から『加藤理事

で、また、教験養殖会、事教達だと、と読合コマニの「四者保」「関版た、と読合コマニの「四者保」「関版た、と読合コマニの「四者保」「関版た、と読合コマニの「四者保」「関版」、しろ助成会配分ルートの文部省一としろ助成会配分ルートので記者」と

ペーンだけが"効果的"に大学関してみると、何か赤字財政キャン

"狂言:

図

するもの の意

理事会存在 を衝くもの

各学部事務室にあっても必然品の中途半端にしない意見くなった。

たりとだえて仕事が何もかも

120,000 150,000

ない理事会の辞任制に、何のくさ **地間的に成し切ろうこするから**で

> そういうことはある。「校報」の いてはあまり

B そうですねる。上の人につ

之給が側限されて競っ様な事務が

任したわけだが、政局が再び安定 **事会選出は加藤**―小畑ライン 三月二八日の評略員会での新理

係者の脳裏に焼ぎる

り表われているのだ。 私大協一各私大の管理構造は神奈 パターンはまざしく人狂苦〉と

できなかったという事でおり、そころ

こうした銀行からの融資に一方

では、 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・

付金でいるのとなった。 一会、あるいは事業収益に のの財政構造は OBかた が出来にいるのとなった。

**泣いている** 

より利益をあげるために

生売前圧、管理する収録集団とながら理事会、転員上層部が一つの

学 あり、その計政危機の責任性を負 かってき迎事会が、現業職員と高級 ぶってき迎事会が、現業職員と高級

る。私大の財政的危機を云々しな「言〉劇であっと言うのではなく、私大協闘謎の現実的機関なのであ キャンペーンンを なすから <狂 当にもはねるがっている。こうし一副されたのであった。

まさに、財政危機が現実のもので

た脈背間の差別標準。そが明大ー

旅学が至ったくないのにへ恋学

しく総営努力なのである。 可能は限りに低く抑える。 関係に送り出す事が私大事を

で書がはら、でおりが文本大されている。 を書がは入している風制制度 単一様型は一般が近くしている風制制度 単一様型は一般が近くしている風制制度 単一様型は一般が近くしている風制制度 単一様型が近く

背景とその欺瞒性

今回の期代会総称戦ー再任とい

- 1-1-1 人は一時、という「文通におった。 1-1-1 とりままました」的に依存している状態が、三肢率に対しているであっただけ、財政関係の一直に実施によりたいるであっただけ、財政関係の一直に実施によりたので、世界に対しているので、他のは、1-1 というので、他のは、1-1 というので、他のは、1-1 というので、他のは、1-1 というので、他のは、1-1 というので、他のは、1-1 というので、他のは、1-1 というので、ので、1-1 というので、1-1 と

みられる赤字の前には焼け石に水

の辞任―再任劇

議員会の予算委員長であり、元財経学部長がなったし、四七年度評

一 遠に理事長の座を譲って 一る財政ビジョンがない。

透り咲いたわけである。 務理事であった松本評議員は再び

げた謎ろむ
内閣>の登

### 教員・職員・現業員は

### >をどうとらえるか

える、まず職業の一つは、一何が順後だったのですか。私ども えのへんだもうすこし辞し C 今まで充生方のお話を飼い

でもある。 一つは装ぎし続けに が 「明大」という教育機関に従事 第でもある。 一つは装ぎし続けに が 「明大」という教育機関に従事

一つには学生の対象と

学校法人労働者の存在をはっきり 学校法人労働者の存在をはっきり

な違いをみせる。桃栄平当は現実

圧層の 現泰職員に転化 させられ

こ。四八年の映台祭時の新学館の

てもいわゆる「明天出」あるいは

C 私にいわせてもらうなら、す。 全であざいが説明

A 張は、「学養再催上げ」だろうし、 A 大

第14の名(一つは逆じ続けに)が、町大」という教育機関に従事・十七万円である。本体の段階の差(然の事後発達は一切してした後期の以前の現的解決(かたり、終りと情じのを持つ人々一円になるのに表認は確認とまりで こっている。大学出版・学生間の数 めていただきたいと思いますが。 ――

の公かでなうっし、米学作詞と 魅うではすしたいからしれば 一般を開始大きつてたこうこと、人が学生アメーシン (44) つこそで 親廷の力では明智の (加 とは、明認第ようで以来のことだ。任)というして北九二連の物が、数者の力では明智の (加 とは、明認第ようじりを返ってしての公かでなううし、米学作品)とは、1000年間では、1000年には、1000年間では、1000年には、1 ーキ・エカヒに いろいろろ A 管域今度の解散をありって、 光をなんかは、かえって表現にい 「赤字!! だなっ 甘女を見つこって。 ついて、 第を目り、

新内閣成立」劇について

ない。これである。 (2) 小など、うとにつまじょうね。 はいまない。 (2) 小など、うとにつまじょうね。 はいまない。 (2) 小など、うとにつまじょうね。 (2) 小など、うない。 (2) 小など、たいないない。 (3) 小など、たいないない。 (4) からないというという。 (4) からない。 (5) 小など、たいないない。 (5) 小など、たいないない。 (5) 小など、たいないない。 (6) からない。 (7) からない。 (7) からない。 (7) からない。 (7) からない。 (7) からない。 (7) からない。 (8) からない。 (8) からない。 (9) からない。 (9)

学内関係者・学生への発言



てほしい

その人はだめでしたが。 くれまいか」というんです。特に そう思います。事務屋 事をやらずによっこんだ人もいるかられ。でも、中には壊されて小

られたんじゃあ、私道も困り

(学) とにかく

ります。でも些数の時みたい

B 私も光生のいうことはわか

ね。いまのうちですよ。(笑)って旨さんに、憎まれる。位だか

なって「元気」でも、

にいうべ、論の上では活発にやって私達の に表た時にはあいさつくらいして ともやってはしい。それから然口

には、建学精神をもってぶつかっ、思い。 がないが、少々元気がないとおも 大学の変な「慣例」 ず我這を与く でいってほしいと 竹さん本門に選挙



しょう。不安ですよ。 (安) が限度なんでしょうね。へはやはり難かしい情報ですね。へ A さっきもいったが、元気に C その上明治じゃ「退職金」

今から 元をと

■ 今の学生でんは背に五万円 位でやっていかないと疑の生活 をもできないという調査か」の前あ 乗りましたが、学致らいれらと一中 に百万円を軽く越えるでしょう に百万円を軽く越えるでしょう かるかよくわかりましたよ

「学費」や「生活質」がいかにか 家に帰ってよくいわれますよ。恩私も定年後の身のふり方について A その事はよくわかります。 まっていたらやはり、弱い者だけ

職員本俸基準 学題 高 卒 大 卒 海貫・書記 書記補・書記 副 参 事 参

- 梅記 - 副参事 - 参海というラン

| 切信類の対象とはなりえない。 人亦字である>>と書われれば、 それに何の疑問ももたず、加藤体

まったく違う。その上字校の経覧

教授達しても、また学生にとって「10万円ももらえない。と 格別にいきれ込んでいってしまう このままでは定年までいて 変、性理者の手先となるくく 茶 きか「おこっている」。私なためれば、理事会のもうらみ通り、収 C だいたに役員をあると可求している」。私なため

| 明大の職員の職制に大卒が各紀補明大の職制にみが指導体系

大きまとのはと ので追 はあまりにも大きい。大卒のエリアにはと みてみると、大卒が水万五千八百大はと みてみると、大卒が水万五千八百

では、かまれているのだ。

「大人であまれているのだ。」

「大人であまれているのだ。」

「大人であまれているのだ。」

「大人であまれているのだ。」

「大人で表現したが、大人である。」

「大人で表現したが、大人である。」

「大人で表現したが、大人で表現したが、大人で表現した。」

「大人で表現したが、大人で表現したが、大人で表現した。」

「大人で表現したが、大人で表現した。」

「大人で表現したが、大人で表現した。」

「大人で表現した。」

「

出来ない状態にある。

日一四七年度末で借入余が二二億円も ・ しても、いわゆるマンモス私大の ・ 中で、その依存度が断然トップで・ ・ ないのできた。他大学と比較 ・ で戻かなってきた。他大学と比較

A 教授会の方でも、例えば教

ね。笑いがとならぬのも道理です

た」というようなことをいっていた後で、学費が入ってきてよかっ

う教技会のただでさえ忙がしい時 あってはかなわないし、 通例化し 拠会におしつけるのではなくて、 ぬがれないだろう。やはり、理事にコソコソやめたような自衆はま B ある先生は、「この解散が 「お願いします」といわか

3.22連合教授会に介入する (5号館前)

でも職種の格定というか、給与の でも職種の格定というか、給与の でも職種の格定というか、給与の

らか入ってくっでしょう。その度しかも、(情報が)やはりいく

11.19公判断章―その3

影のない風景

すでに明治大学理事会は、その

だった。私達は、彼将へ理事会〉 なす〈理簿会〉(加藤五六選事長 ・当時)は、タイムリミットを目

- Jの王座を希かしているのが、 織の態度にスナミ先生 「少年マガジン」と「少年サンデ - メタクソ団。とい「少年マガジン」と「少年サンデ - メタクソ団。とい - 男してからのようだ。

のだけれど、校長にロタメングが、と言っても、頻響に出ているクソ、丸となって著にあならのである。クリ門。に入りたママ化様がない、減しているというがと言えば、何、自が悔い改め、"メタクソ!!!」「一人の選手にスする先年及び "メタ トイレット博士以来、『様木・発 な神は、マタンチ・の合図で、各種の選手にスする先年及び "メタ

人役し出」キャンペーンとし

これていくか、沈黙と解体の状況いたなってゆくしかその方達はなか

ソローというキャラクターが内容時、常に脱線したけ、

一 にクソリアリズムの 極致と 言える。

機様するのか、それとも今間会共、くのかが決定的に関われたと考え、いても存在していた。 際の全共間運動にはつまれた質を、いうことだが、「継承」してい、た概数のグループは 型の参類といった大〇年代後半以、る政治的。武力的優心性の整神と、「での自立的武技をもる 

その強烈さに注目を集め イレット博士の姿はどこにも見当場面にやたらとクソが出 "メタクソ団』物語であって、トレット博士という人物が もはや、『トイレット博士』は クソ・くそ・糞

"クソは全ゆる無化作用を有す

マール 大学 マンファース 会が送来出げ、 マークンの は巻きとって情報と シッファース 会が送来出げ、 マークンンの機が振行と対 あっ ブックン側 の 一番シェート の 一番の オークンの の 一番シェート の 一番の オークンの の 一番シェート の 一番の話で 一名 一番の話で 一名 一番の話で 一名 一番の話で 一名 一番の話で 一名 一番の話で 「マンカー」 「マンカー」 「マンカー」 「マンカー」 「マンカー」 「マンカー」 「「マンカー」 「「マンカー」 「「マンカー」 「「マンカー」 「「マンカー」 「「マンカー」 「「マークー」 「マークー」 「マークー

ものが、当事咨問における退場のしていくいわゆる「内ゲバ」なる すなわち、闘争過程で、党派政

の交」の確約がかちとられていって、

共闘関係は解体していった。

おは、の場合製造を出来の大学もこと、よるまとを「報告賞目」を及った。 「現代教」の場合製造を出来った。大月日、販売のためデットの場合、のは、 東大学主義のが建立している。 東大学主義のが建立している。 東大学主義のが建立している。 東大学主義のが建立している。 東大学主義のが建立している。 東大学主義のが表示している。 東大学主義のが表示している。 東大学・フェールのでは、 大月日、販売のためでラブールでは、全社 のは、 東大学・フェールでは、 大学・フェールでは、 大学・ファールでは、 大学・ファー 検討し、各被告が「意見陳述」

月より、明治大学新聞」を

目

次

編

23 して12・23連合教授会介入関争を い とが (大幅値上げ)の動きも出始 い とが (大幅値上げ)の動きも出始

的に理事会は同避し、五千円から貫徹する中で、学費値上げを一方

かけて来た。

を通じて保障 している前 提とし係と運動の違い) についての論弁 一次ある学教験争や、生協問題 と述る共産同數展派の武装衝突 の問題の大災化要求等な、常に 学内において果敢な耐いも展開

政治』(未来社か行なわれなかった)

共闘を始めとする「ノンセクト は自らの管理を越えた、マップ は自らの管理を越えた、マップ で、1 当時、学生会中熱を実際)

ダイジェスト

1 〇月二五日 四平 I 学会委請文 I 公開與問状(一)一九) I 電大開步 中大應結開公營学(中大

も向来当であるばかりでなく、 埴 る大衆運動が、その中での意識率 との填谷の抽出したことには今 個別的経済課題を持って生起す

線の分断を図っていった。

・映・室神出し、『戦争宣言』を

マップ共闘を中心とする和泉団は、明大前駅頭で情質していた

粉太學新聞

Ⅱ 現代時間(下)

1973 - 4 - 5~1974 - 2 - 14

Ⅱ 七三年就職状況 Ⅲ 七三年就職状況

一三一一号 東汗中朝华委寄稿

しかし、宗派性を振わにした 散旗小の管理楽力及び、官僚・ 明大当局の教譲水との監測側係 を利用した場任といった推薦的 な変勢にもフップ共順・新聞学 会は部せず、学教酵中を始めと する関いた。最も、戦闘的に担-その過程で戦謀派のゲバルト

の戦前の救援活動をのりこえぬと かあつめえないような観点なら日共 博

く諸個人にいたっては難られるこ

この人11・19 公判〉をめぐっ

Ⅱ 七一~二年学費酬争 〈新入生特集号〉数字は面数

1 学内ニュース 三〇五号

の持つ意味と、その中での主体の 私 (達) が、じかし念頭におく

反する情況が露呈してきたことに

一三〇二号

アナーキズム

Ⅱ ルボーニ部策。祭プピーⅡ 学内ニュース

曜、皇国の 興廃この

い、こんなかんじもいいなあ、ところび、君達のピラはおもしろころび、君達のピラはおもしろ

のここです。このときMK団 学商長が「新学長」に就任し

かのたまわってとっかへ行ってし、めでたくオールド文学青年新藤のという。 エリキョで連合教授会が開かれ、らばあまり重要視してないよ、と、ギリキョで連合教授会が開かれ、のフサではその後定益を解放委の実岩は、 あんだはどこく 一小完氏連二討論なるして帰って来解放委の実岩は、 あんだはどこく

旧て、残りのウロツイている哀れた。 私どもは シャカリゼに なっ う入りこみ、森藤派とおば し小牧派とおぼしき約百

ノバイで、新聞学会の人々がカメ

は自称学内諸「戦線」でえのが

対象目主管理問題
 学館目主管理問題
 マップ共開寄稿(税が派
 すって共開寄稿(税が派
 すってのもの)
 の)

夢多き若人の手をどりあいて、 聞きスクラム輪をなし、大学院・ 七号館・六号館・五号館をグルク ・ 1回り、教師の入機をピシッとチーリ回り、教師の入機をピシッとチー

い団粘はメタクソ団もびっくりで

子が体あたりして入口にはさ大学院正面鉄解がガラガラと わかげで彼はガニマ

一三一〇号

助金で見学(ヨーロッパ19日間)の

1 | 一月 | 五日 | 四日 エ | 川口若腐殺 | 年によせて 大学祭論

東海行 値上庁錠 政の

一三〇九号 対として生きる

> 第六期生追募中 ヨーロッパセミナ

■ 二・一九公判八重程召 ■ 高橋岩獄見候述 ■ 高橋岩獄見候述

三〇八号

10月四日 四小

「公安部長の告目」(二 一三〇七号

うとする若者のために開かれた門で す。大学生で朝日新聞の朝・夕刊の 配達に9カ月間従事すれば、その間 のアルパイト料と、主催者からの補 募中です。詳しくは下記へお問合せ

三〇一号より、一三一三号まで 一 新入生を迎 える時期 にあた 一

Ⅰ 「七二年返還とは何であったか」新里会領 三〇四号

本語の野猫の町木

正 明大管理域化の諸助问 エ 明大管理域化の諸助问

一三〇六号

1 附中蒙育センターの実態 明大総長編の動向 1 明大総長編の動向